



2026年7月21日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
16,103万kW
14時、161,029 MW（10
エリア同時刻合計）

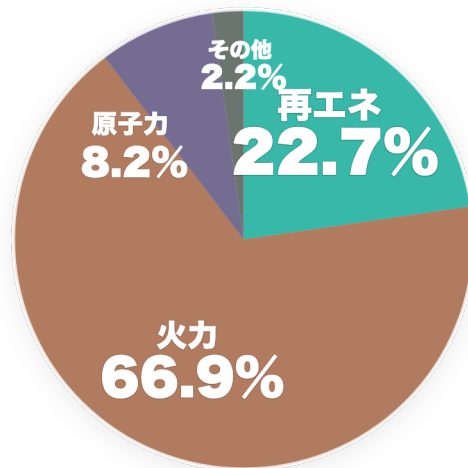
≈ 風力ピーク
60万kW
4時30分、601 MW

↔ 最大受電エリア
東京
121 GWh

☀ 太陽光ピーク
5,168万kW
11時30分、51,677
MW（自家消費分除く）

◇ 再エネ最大需要
比
40.0%
12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
95.3 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 49.6%
45.4 GWh

揚水・蓄電の充電

62.3 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に5,404万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで49.6%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	22.7%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	710 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	3,129 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	40.0%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	62.3 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	49.6%	45.4	0.0	送電 7.7
東北	29.3%	103	0.0	送電 95.3
東京	16.2%	152	0.0	受電 121
中部	24.8%	114	0.0	受電 26.3
北陸	30.3%	30.1	0.0	送電 8.2
関西	17.5%	81.4	0.0	受電 64.9
中国	25.3%	54.7	0.0	送電 7.4
四国	22.7%	31.5	0.0	送電 45.3
九州	28.0%	95.8	0.0	送電 28.8
沖縄	10.4%	3.4	0.0	—



2026年7月21日の供給実績

北海道エリア

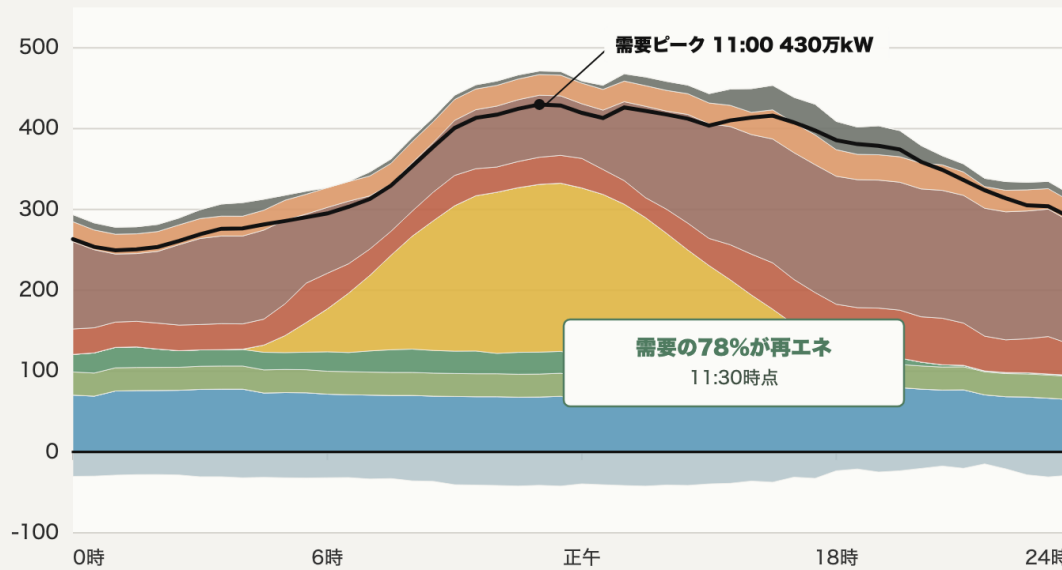
再エネ

45.4GWh

(発電電力量ベース49.6%)

北海道エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 92GWh

(915万kWh)

再エネ	45.4GWh (49.6%)
太陽光	16.8GWh (18.4%)
水力	17.3GWh (18.9%)
風力	4.5GWh (4.9%)
バイオマス	6.8GWh (7.4%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	9.5GWh (10.4%)
石炭火力	27.2GWh (29.7%)
石油等火力	6.5GWh (7.1%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	3.0GWh (3.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

91.5GWh

需要ピーク

11:00、430万kW

連系線・その他

7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク208万kW、風力ピーク29万kWで、時間別の再エネ最大需要比は77.9%だった。



2026年7月21日の供給実績

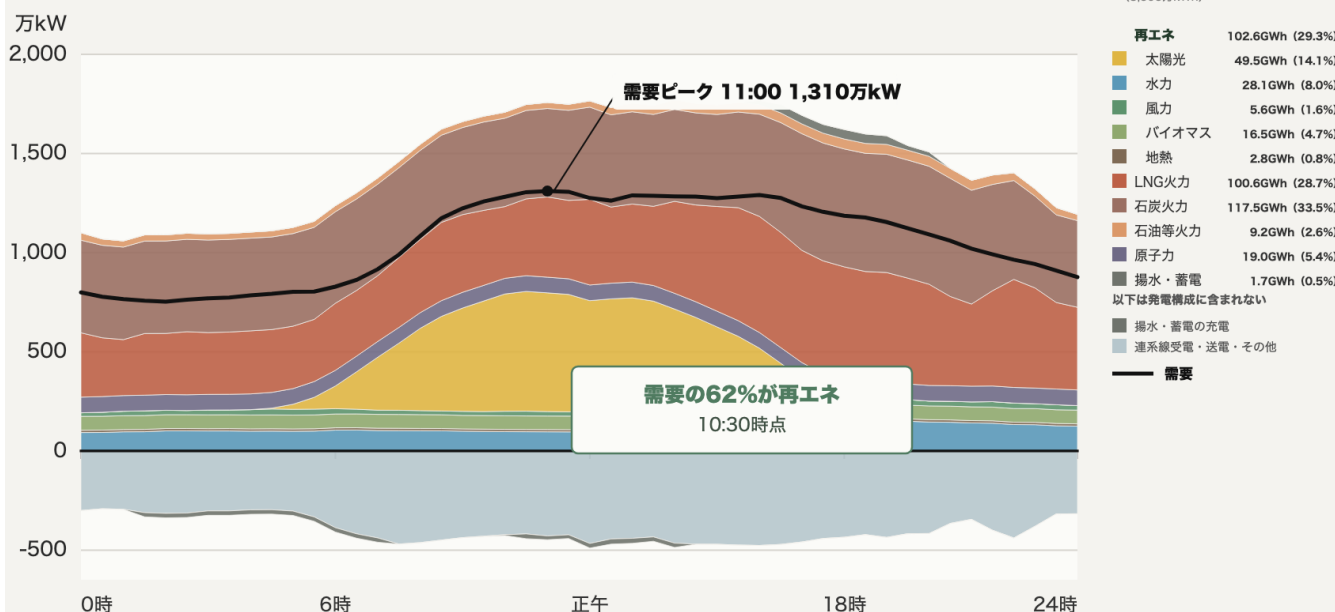
東北エリア

再エネ

102.6GWh

(発電電力量ベース29.3%)

東北エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

350.5GWh

需要ピーク

11:00、1,310万kW

連系線・その他

95.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク604万kW、風力ピーク30万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.7%だった。



2026年7月21日の供給実績

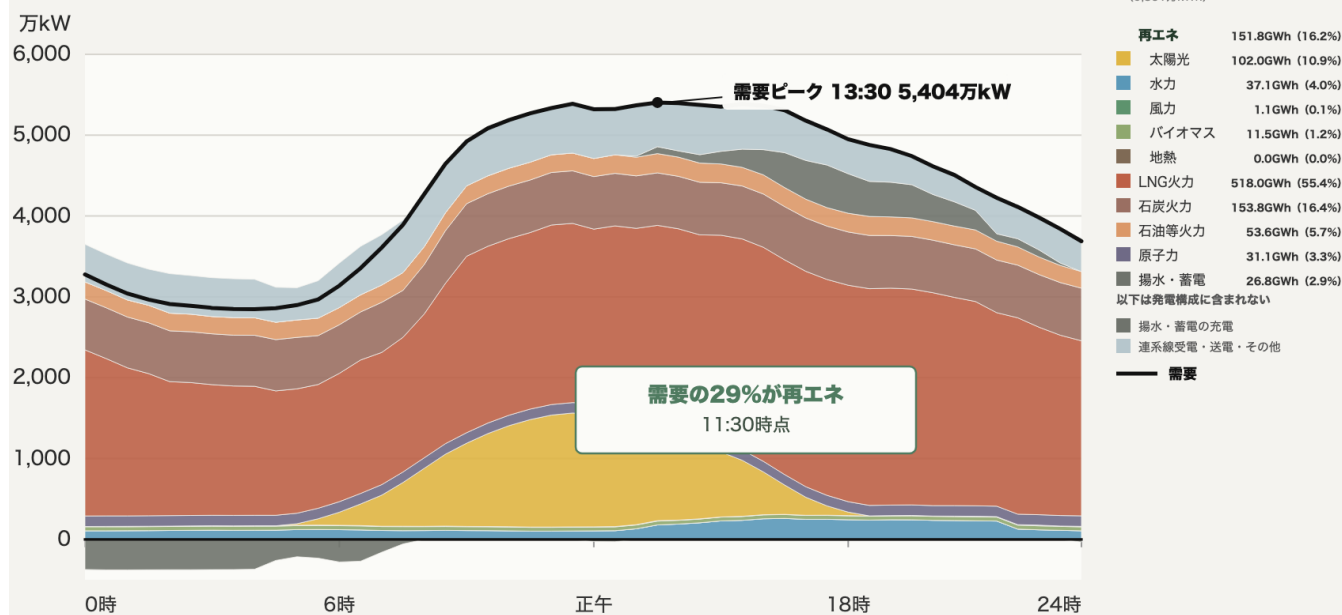
東京エリア

再エネ

151.8GWh

(発電電力量ベース16.2%)

東京エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

935.1GWh

需要ピーク

13:30、5,404万kW

連系線・その他

120.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電

24.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,409万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.1%だった。



2026年7月21日の供給実績

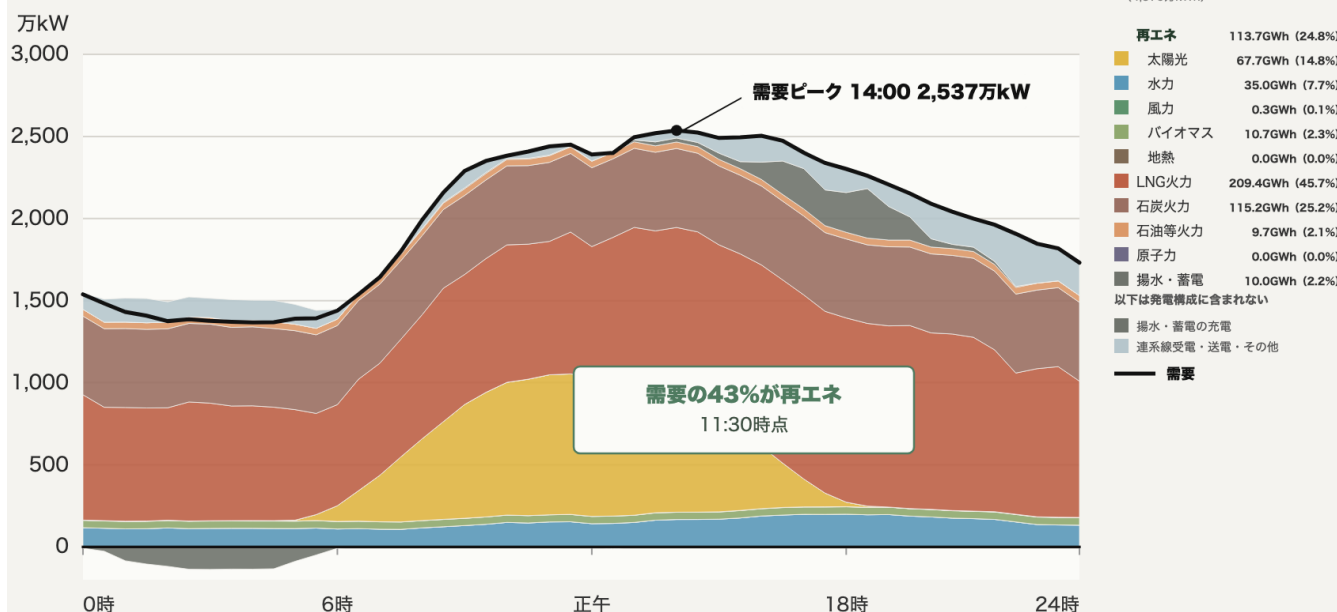
中部エリア

再エネ

113.7GWh

(発電電力量ベース24.8%)

中部エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

457.9GWh

需要ピーク

14:00、2,537万kW

連系線・その他

26.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク855万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.4%だった。



2026年7月21日の供給実績

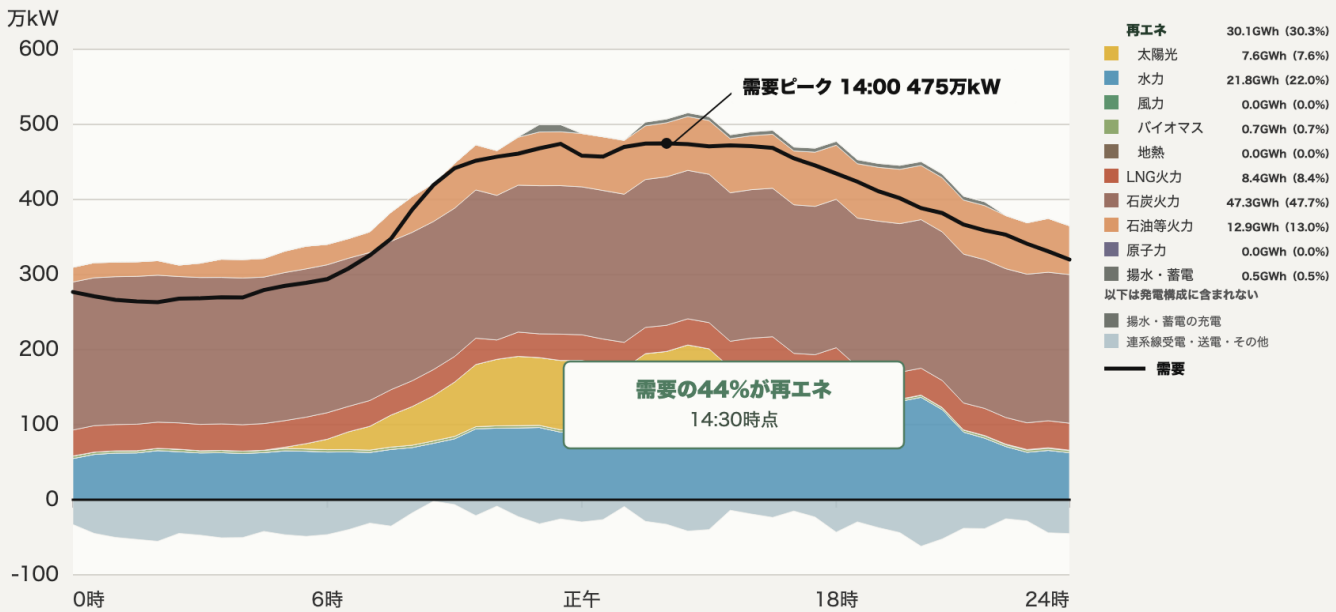
北陸エリア

再エネ

30.1GWh

(発電電力量ベース30.3%)

北陸エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

99.2GWh

需要ピーク

14:00、475万kW

連系線・その他

8.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク92万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.5%だった。



2026年7月21日の供給実績

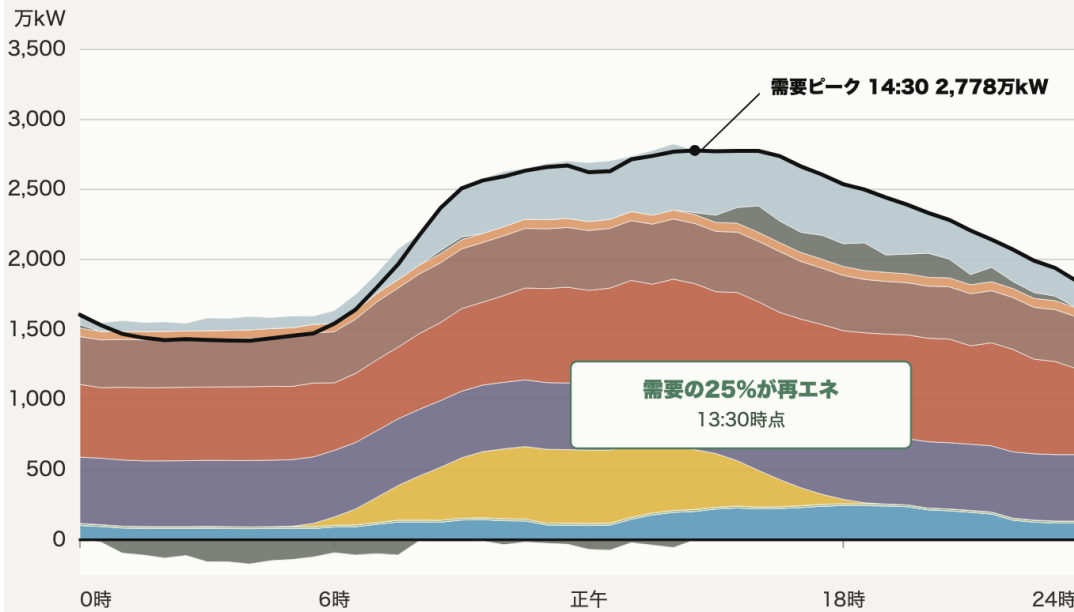
関西エリア

再エネ

81.5GWh

(発電電力量ベース17.5%)

関西エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 466GWh
(4,655万kWh)

再エネ	81.4GWh (17.5%)
太陽光	43.1GWh (9.3%)
水力	35.1GWh (7.5%)
風力	0.1GWh (0.0%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	150.9GWh (32.4%)
石炭火力	93.7GWh (20.1%)
石油等火力	15.1GWh (3.3%)
原子力	113.7GWh (24.4%)
揚水・蓄電	10.7GWh (2.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量
465.5GWh

需要ピーク
14:30、2,778万kW

連系線・その他
64.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
10.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク526万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.3%だった。



2026年7月21日の供給実績

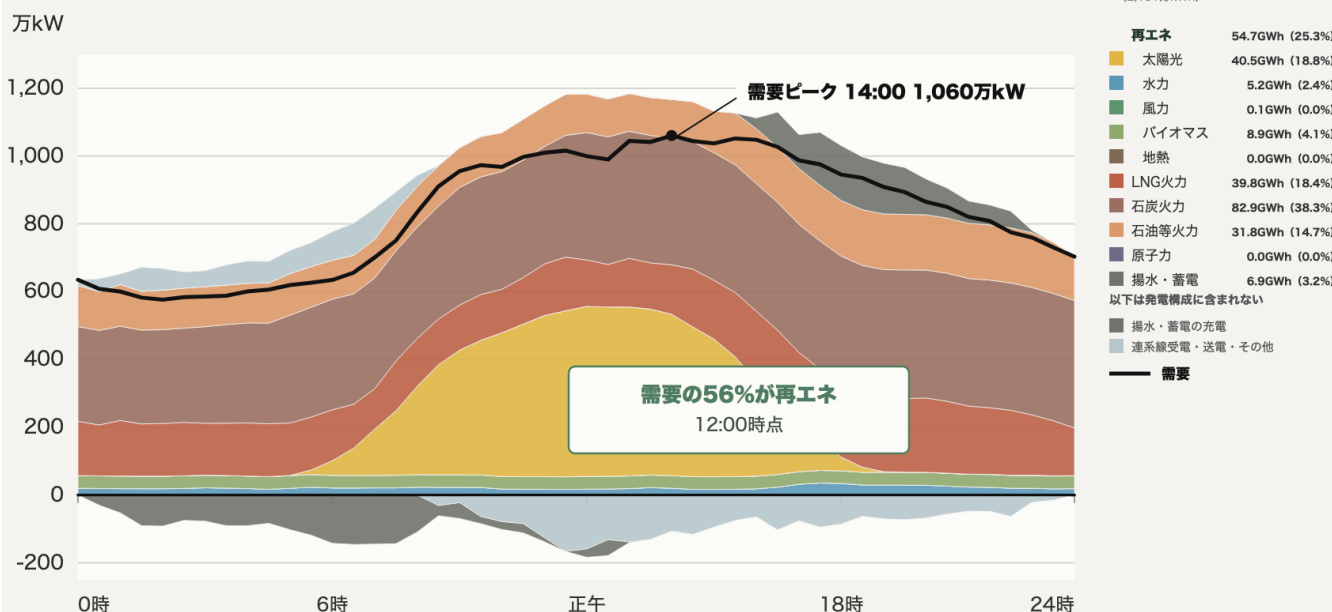
中国エリア

再エネ

54.7GWh

(発電電力量ベース25.3%)

中国エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

216.1GWh

需要ピーク

14:00、1,060万kW

連系線・その他

12.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク502万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.1%だった。



2026年7月21日の供給実績

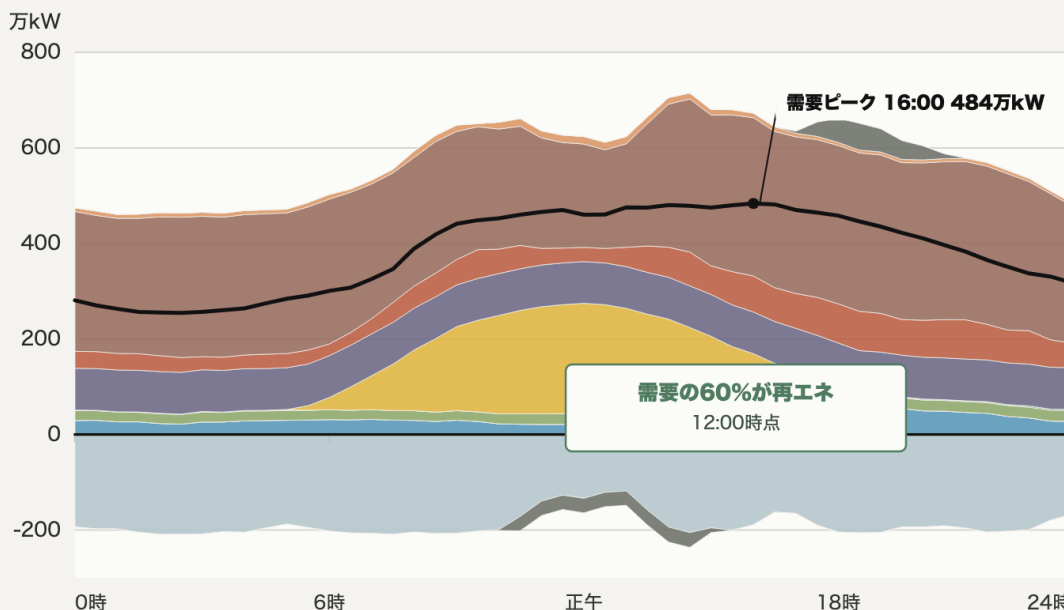
四国エリア

再エネ

31.5GWh

(発電電力量ベース22.7%)

四国エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 139GWh
(1,386万kW)

再エネ	31.5GWh (22.7%)
太陽光	18.5GWh (13.3%)
水力	7.7GWh (5.5%)
風力	0.2GWh (0.1%)
バイオマス	5.1GWh (3.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	12.4GWh (8.9%)
石炭火力	70.1GWh (50.6%)
石油等火力	2.3GWh (1.7%)
原子力	21.0GWh (15.1%)
揚水・蓄電	1.4GWh (1.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

138.6GWh

需要ピーク

16:00、484万kW

連系線・その他

45.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク230万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.7%だった。



2026年7月21日の供給実績

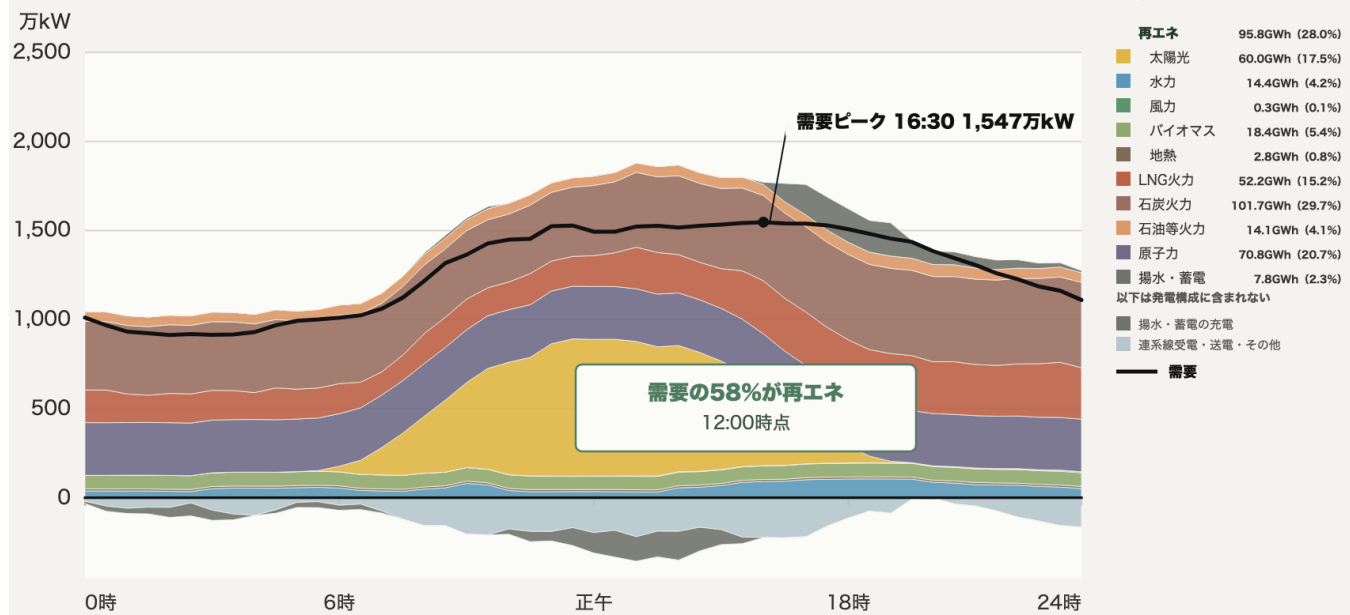
九州エリア

再エネ

95.8GWh

(発電電力量ベース28.0%)

九州エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

342.5GWh

需要ピーク

16:30、1,547万kW

連系線・その他

28.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

8.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク771万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.6%だった。



2026年7月21日の供給実績

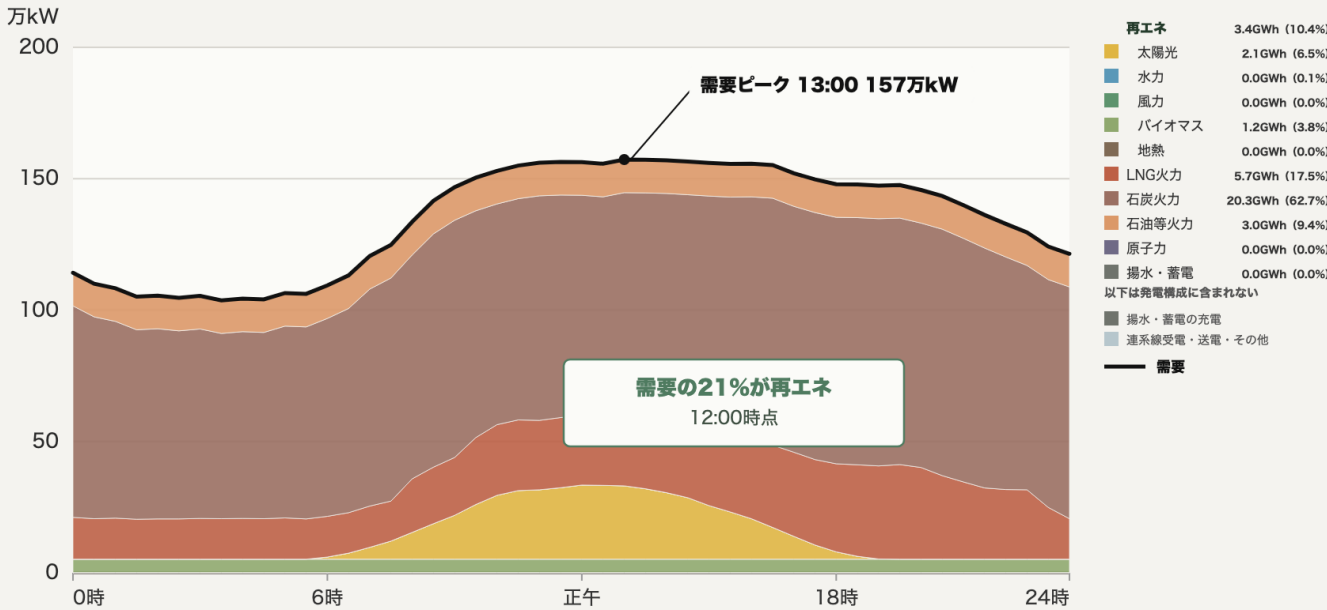
沖縄エリア

再エネ

3.4GWh

(発電電力量ベース10.4%)

沖縄エリア 2026年7月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

32.3GWh

需要ピーク

13:00、157万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.4%だった。